

出品番号	絵師名	作品名	制作年代	判型
106	東洲斎写楽	おのえ まつすけ まごろうにやどろ 尾上松助の孫六入道	寛政6年(1794)11月	細判錦絵
107	東洲斎写楽	なかじまわだ えもん やねしみが じごろう 中島和田右衛門の家主身替わりの地蔵	寛政6年(1794)11月	細判錦絵
108	東洲斎写楽	にだいに おき がわつね よ ほんかみおひ ろく 二代目小佐川常世の女髪結お六	寛政6年(1794)11月	細判錦絵
109	東洲斎写楽	にだいに あらしりやうぞう おおともやまぬし 二代目嵐龍蔵の大伴山主	寛政6年(1794)11月	細判錦絵
110	東洲斎写楽	にだいに なかむらなかぞう あらまみみしろう 二代目中村仲蔵の荒巻耳四郎	寛政6年(1794)11月	細判錦絵
111	東洲斎写楽	いちかわえびさげ かいこくしゆぶよしやうりうざん じつ あべ きだろう 市川鯨蔵の廻国修行者良山、実は安部貞任	寛政6年(1794)11月	細判錦絵
112	東洲斎写楽	さんだいに いちかわ や お ぞう なかやまとみきぶろう きりかぶろ 三代目市川八百蔵と中山富三郎の切禿	寛政6年(1794)11月	細判錦絵二枚続
113	東洲斎写楽	おうち や きんしゆ なかやまとみきぶろう 「近江屋錦車」中山富三郎のおひさ	寛政6年(1794)11月	間判錦絵
114	東洲斎写楽	てんのう じ やりこう にだいに やましたきんぞう なかい おかね じつ きだろうつまいわて ごぜん 「天王子屋里虹」二代目山下金作の仲居おかね、実は貞任妻岩手御前	寛政6年(1794)11月	間判錦絵
115	勝川春章	なかむらなかぞう 中村仲蔵	明和7～8年(1770～71)頃	細判錦絵
116	勝川春章	さんだいに せせがわきく の じょう ほこいた 三代目瀬川菊之丞の羽子板	天明前期(1781～84)頃	間判錦絵
117	勝川春章	がく や さんだいに いちかわだんぞう さんだいに せせがわきく の じょう 染屋の四代目市川団蔵と三代目瀬川菊之丞	天明2～3年(1782～83)頃	大判錦絵
118	窪俊満	なかず しきあん しゆえん 中洲の四季庵の酒宴	天明5～7年(1785～87)頃	大判錦絵二枚続
119	鳥文齋栄之	しながわ ゆうあん 品川の遊宴	寛政2～4年(1790～92)	大判錦絵三枚続
120	鳥文齋栄之	すみだ がわ ふな遊び 隅田川の船遊び	寛政2～4年(1790～92)頃	大判錦絵三枚続
121	鳥文齋栄之	しんおおほほしした すず ぶね 新大橋橋下の涼み船	寛政4年(1792)頃	大判錦絵五枚続
122	鳥文齋栄之	かわいち まるふな 遊び 川一丸船遊び	寛政8～9年(1796～97)頃	大判錦絵五枚続
123	鳥文齋栄之	ちや や ひろみ たてかりがね ご にんねん 茶屋娘見立雁金五人男	寛政5年(1793)頃	横大判錦絵
124	鳥文齋栄之	やしきんぶくつひ にしはらさん の みや 衣通姫 小野小町 「略三幅対 女 三之宮 衣通姫 小野小町」	寛政8年(1797)頃	大判錦絵三枚続
125	五柳	たまや つた やうちさん 「玉屋うち小紫 蔦屋内三しう」	寛政2年(1790)頃	大判錦絵二枚続
126	鳥高齋栄昌	わか な ぼつ よう おかもと やうち しなでる 「若那初模様 岡本屋内 志那照 かたを かやま」	寛政8～9年(1796～97)頃	大判錦絵
127	北尾重政	しやうぎ しな 祝儀の品	文化期(1804～17)	色紙判摺物
128	北尾重政	じゆうのう のうち 「十能之内」	文化5年(1808)	色紙判摺物
129	北尾政美	えど とうごくほしゆうすけの けい 「江戸両国橋夕涼之景」	寛政前期(1791～94)	横大大判錦絵
130	歌川豊春	うきえ えど ふかがわしんおほほしなかず の づ 「浮絵江戸深川新大橋中須之図」	明和元～7年(1764～70)頃	横大判錦絵
131	歌川豊国	やくしやぶ ない の づかえ にだいに なかむらなかぞう あらまみみしろう 「役者舞台之姿絵 まさつや」二代目中村仲蔵の荒巻耳四郎	寛政6年(1794)	大判錦絵
132	歌川豊国	むたまがわ ちよぶ たまがわ 六玉川 調布の玉川	寛政後期(1795～1801)	大判錦絵三枚続
133	歌川豊国	み たてがわやま 見立鏡山	享和期(1801～04)頃	大判錦絵三枚続
134	歌川豊広	たま やうち こぼし 「玉屋内 小紫」	寛政6年(1794)頃	柱絵判錦絵
135	勝川春章	しやうしやう げ ほん 春章画本	明和8年(1771)	彩色摺絵本1冊
136	北尾重政 勝川春章	せいりやう び じんおほほしなかず 「青楼美人合姿鏡」	安永5年(1776)	彩色摺絵入り狂歌本 3巻の内2巻
137	鳥居清長	さいしき めい つのあざ 「彩色美津朝」	天明7年(1787)	彩色摺絵本1帖
138	喜多川歌麿	ぎん せ かい 「銀世界」	寛政2年(1790)	彩色摺絵入り狂歌本1帖
139	喜多川歌麿	ふ びん ぞう 「普賢像」	寛政2年(1790)	彩色摺絵入り狂歌本1帖
140	北尾政美	かいほく かい さんずい 「海舶来禽図彙」	寛政2年(1790)	彩色摺絵本1帖
141	歌川豊国	やくしやこのて で び し わ 「役者此手嘉志和」	享和3年(1803)	彩色摺絵本2冊の内1冊
142	無款(勝川春章)	みたてきん さんしよ げ ず 見立琴棋書画図	寛政前期(1789～1801)	絹本着色一冊
143	歌川豊春	ゆうじよ べん ず 遊女と禿図	天明年間(1781～89)	絹本着色一冊
144	鳥文齋栄之	すみだ がわのうらたし づ 「隅田川納涼図」	文化文政期(1804～29)	絹本着色三幅

## 出品リスト

\* 出品番号は、図録の番号に対応します。千葉市美術館会場に展示される作品のみ記載していますので、一部欠番がございます。

\* 展示替はありません。



鳥居清長『子宝五節遊』端午(部分)  
Photograph © 2011 Museum of Fine Arts, Boston. All rights reserved.

出品番号	絵師名	作品名	制作年代	判型
1	鳥居清長	にだいに いちかわ こまぞう くどう きんもんすけつね 二代目市川高麗蔵の工藤左衛門祐経	明和9年(1772)	細判紅摺絵
2	鳥居清長	にだいに いちかわもん の 助け 源 頼信 二代目市川門之助の 源 頼信	安永4年(1775)	細判紅摺絵
3	鳥居清長	さんだいに せせがわきく の じょう や おや しち 三代目瀬川菊之丞の八百屋お七	安永8年(1779)	細判錦絵
4	鳥居清長	びんしや ふたり じよちゆう 芸者二人と女中	安永6～7年(1777～78)頃	中判錦絵
5	鳥居清長	とうせいゆうり び じんねん どうのほな 「当世遊里美人合 土手花」	天明前期(1781～84)頃	大判錦絵
6	鳥居清長	とうせいゆうり び じんねん りんご 「当世遊里美人合 橘」	天明前期(1781～84)頃	大判錦絵
7	鳥居清長	とうせいゆうり び じんねん なかずのすけ 「当世遊里美人合 又江涼」	天明前期(1781～84)頃	大判錦絵二枚続
9	鳥居清長	ひな形若菜の初模様 丁子屋内 丁山 しをり つまき 「雛形若菜の初模様 丁子屋内 丁山 しをり つまき」	天明2年(1782)頃	大判錦絵
10	鳥居清長	ひな形若菜の初模様 あふきや 扇野 いさみ すさみ 「雛形若菜の初模様 あふきや 扇野 いさみ すさみ」	天明3～7年(1783～87)	大判錦絵
11	鳥居清長	ひな形若菜の初模様 あふきや内 たき川 おなみ めなみ 「雛形若菜の初模様 あふきや内 たき川 おなみ めなみ」	天明3年(1783)	大判錦絵
12	鳥居清長	ふうりゅう さんつ の うま 貝駒 「風流三つの駒」貝駒	天明4年(1784)頃	大判錦絵
13	鳥居清長	にしはらさん の みや 女 三宮	天明4年(1784)頃	大判錦絵
14	鳥居清長	あみなみ じふにこう さんがつ 「美南見十二候」三月	天明4年(1784)頃	大判錦絵二枚続の右
15	鳥居清長	あみなみ じふにこう くがつ 「美南見十二候」九月	天明4年(1784)頃	大判錦絵
16	鳥居清長	ふうよく とうの とき はる の 遊ぶ 「風俗東之錦」春の野遊び	天明3～4年(1783～84)頃	大判錦絵二枚続の右
17	鳥居清長	ふうよく とうの とき はる み 「風俗東之錦」萩見	天明3～4年(1783～84)頃	大判錦絵二枚続
18	鳥居清長	ふうよく とうの とき 帯解 「風俗東之錦」帯解	天明3～4年(1783～84)頃	大判錦絵
19	鳥居清長	なかの ちゆう ばつたん 仲之町の牡丹	天明6年(1786)	大判錦絵三枚続
20	鳥居清長	しんきんげん 江戸町二丁目丁子屋之図 「新吉原江戸町二丁目丁子屋之図」	天明5～6年(1785～86)頃	小奉書全紙判錦絵
22	鳥居清長	さんだいに せせがわきく の じょう こいし 山下万菊の賤機姫 さんだいに なかむらなかぞう おおともひなみすけ 三代目沢村宗十郎の大友常陸介	天明3年(1783)	大判錦絵
23	鳥居清長	さんだいに さいわむらそうじゆうろう せが じゆうろう さんだいに せせがわきく の じょう や ぼし ゆうこん 三代目沢村宗十郎の曾我十郎 三代目瀬川菊之丞の八つ橋の幽魂 にだいに いちかわもん の 助け せいげん ぼしこん 二代目市川門之助の清玄の亡魂	天明3年(1783)	大判錦絵
24	鳥居清長	さんだいに なかむらなかぞうのうらたし づ とうろう ねがえみちし ころろ にだいに いちかわもん の 助け 放駒長吉 三代目沢村宗十郎の濡髪長五郎 二代目市川門之助の放駒長吉 さんだいに せせがわきく の じょう あづま さんだいに いちかわ や お ぞう やまきよ ところろ 三代目瀬川菊之丞の吾妻 三代目市川八百蔵の山崎与五郎	天明3年(1783)	大判錦絵

# The Golden Age of Color Prints: *Ukiyo-e* from the Museum of Fine Arts, **Boston**

ボストン美術館浮世絵名品展  
錦絵の黄金時代

Torii Kiyonaga Kitagawa Utamaro Toshusai Sharaku  
清長 歌麿 写楽

2011.4.26.tue ▶▶ 6.5.sun 千葉市美術館  
Chiba City Museum of Art

出品番号	絵師名	作品名	制作年代	判型
25	鳥居清長	五代目市川團十郎の横川覚範 三代目沢村宗十郎の狐忠信 中山富三郎の静御前	天明4年(1784)	大判錦絵
26	鳥居清長	三代目沢村宗十郎の頼朝 山下万菊の政子 中村里好の清瀧	天明4年(1784)	大判錦絵
27	鳥居清長	三代目沢村宗十郎の工藤祐経 三代目市川八百蔵の曾我五郎 三桝徳次郎の大磯虎	天明5年(1785)	大判錦絵
28	鳥居清長	三代目瀬川菊之丞の石橋	寛政元年(1789)	大判錦絵
29	鳥居清長	三代目瀬川菊之丞の石橋	寛政元年(1789)	大判校合摺
30	鳥居清長	「子宝五節遊」人目	寛政6〜7年(1794〜95)頃	大判錦絵
31	鳥居清長	「子宝五節遊」上巳	寛政6〜7年(1794〜95)頃	大判錦絵
32	鳥居清長	「子宝五節遊」端午	寛政6〜7年(1794〜95)頃	大判錦絵
33	鳥居清長	「子宝五節遊」重陽	寛政6〜7年(1794〜95)頃	大判錦絵
34	鳥居清長	「子宝五節遊」人目	寛政13年(1801)	大判錦絵
35	鳥居清長	「子宝五節遊」上巳	寛政13年(1801)	大判錦絵
36	鳥居清長	「子宝五節遊」端午	寛政13年(1801)	大判錦絵
37	鳥居清長	「子宝五節遊」七夕	寛政13年(1801)	大判錦絵
38	鳥居清長	「子宝五節遊」重陽	寛政13年(1801)	大判錦絵
39	喜多川歌麿	「契情婦美姿 八」	天明2年(1782)頃	中判錦絵
40	喜多川歌麿	「四季遊花之色香 上・下」	天明3年(1783)頃	大判錦絵二枚続
41	喜多川歌麿	春の行楽	天明7〜8年(1787〜88)頃	大判錦絵三枚続の中
42	喜多川歌麿	寝語軒訪問	天明8〜寛政元年(1788〜89)頃	大判錦絵二枚続
43	喜多川歌麿	彩霞楼	天明8〜寛政元年(1788〜89)頃	中判錦絵
44	喜多川歌麿	「琴棋書画」	天明8〜寛政2年(1788〜90)頃	大判錦絵三枚続の左・中
45	喜多川歌麿	唐美人宴遊の図	天明8〜寛政2年(1788〜90)頃	大判錦絵三枚続
46	喜多川歌麿	大名屋敷の山東京伝	天明8〜寛政2年(1788〜90)頃	大判錦絵三枚続
47	喜多川歌麿	富士見屋の店先	寛政元〜2年(1789〜90)頃	間判錦絵二枚続
48	喜多川歌麿	吉原の正月「京町一丁目 俵屋内 花山 つほみ ふぶき」	寛政元〜2年(1789〜90)頃	間判錦絵二枚続
49	喜多川歌麿	福祿寿、弁天、布袋の年賀の宴	寛政5〜6年(1793〜94)頃	大判錦絵三枚続
50	喜多川歌麿	「青楼仁和嘉女芸者 茶せん売 黒木売 さいもん」	寛政5年(1793)	大判錦絵
51	喜多川歌麿	吉原仁和嘉 荻江松蔵 峯 いと	寛政5年(1793)	大判錦絵
52	喜多川歌麿	「青楼三幅対」	寛政5年(1793)頃	大判錦絵
53	喜多川歌麿	江戸高名美人「高しまおひさ」	寛政4〜5年(1792〜93)頃	間判錦絵
55	喜多川歌麿	囲碁を囲む五美人	寛政5年(1793)	横大判校合摺
56	喜多川歌麿	虚無僧と美人	寛政5年(1793)頃	大判錦絵
57	喜多川歌麿	「江戸町壺丁目 玉屋内 若梅 むめの いろか」	寛政5〜6年(1793〜94)	大判錦絵
58	喜多川歌麿	(「歌撰恋之部 稀ニ逢恋」)	寛政5〜6年(1793〜94)頃	大判錦絵
60	喜多川歌麿	「当時全盛美人揃 瀧川」	寛政6年(1794)	大判錦絵
61	喜多川歌麿	「丁子屋内 雛鶴 つるし つるの」	寛政6年(1794)頃	大判錦絵
62	喜多川歌麿	虚無僧姿の男女	寛政6年(1794)頃	大判錦絵
63	喜多川歌麿	「青楼十二時 統 辰ノ刻」	寛政6年(1794)頃	大判錦絵
64	喜多川歌麿	「青楼十二時 統 午ノ刻」	寛政6年(1794)頃	大判錦絵

出品番号	絵師名	作品名	制作年代	判型
65	喜多川歌麿	「青楼十二時 統 未ノ刻」	寛政6年(1794)頃	大判錦絵
66	喜多川歌麿	「青楼十二時 統 丑ノ刻」	寛政6年(1794)頃	大判錦絵
67	喜多川歌麿	「青楼十二時 統 寅ノ刻」	寛政6年(1794)頃	大判錦絵
68	喜多川歌麿	千代鶴	寛政6〜7年(1794〜95)頃	大判錦絵
69	喜多川歌麿	「風俗三段娘 下品之図」	寛政6〜7年(1794〜95)頃	大判錦絵
71	喜多川歌麿	大川端夕涼	寛政7〜8年(1795〜96)頃	大判錦絵三枚続
72	喜多川歌麿	「高名美人六家撰 難波屋おきた	寛政7〜8年(1795〜96)頃	大判錦絵
73	喜多川歌麿	「青楼遊君合鏡 丁子屋 雛鶴 雛松」	寛政9年(1797)頃	大判錦絵
74	喜多川歌麿	「青楼遊君合鏡 若那屋内 若菜 和哥浦」	寛政9年(1797)頃	大判錦絵
75	喜多川歌麿	「松葉楼 哥川 松風 若紫」	寛政9年(1797)頃	大判錦絵三枚続
76	喜多川歌麿	煤掃き	寛政9〜11年(1797〜99)頃	大判錦絵五枚続の左側3図
77	喜多川歌麿	煤掃き	寛政9〜11年(1797〜99)頃	大判錦絵五枚続の右側2図
78	喜多川歌麿	「逢身八契 梅川忠兵衛の喜伴」	寛政10〜11年(1798〜99)頃	大判錦絵
79	喜多川歌麿	「忠臣蔵 七段目」	寛政10〜11年(1798〜99)頃	大判錦絵
80	喜多川歌麿	「忠臣蔵 七段目」	寛政10〜11年(1798〜99)頃	大判校合摺
81	喜多川歌麿	覗き	寛政11〜12年(1799〜1800)頃	大判錦絵
83	喜多川歌麿	「風流子宝合」本読み	享和2年(1802)頃	大判錦絵
84	喜多川歌麿	「茂兵衛女房おさんが相」	寛政12年(1800)頃	大判錦絵
85	喜多川歌麿	「風流七小町 清水」	享和3年(1803)頃	大判錦絵
87	喜多川歌麿	五節句	享和3年(1803)頃	大判錦絵五枚続
88	喜多川歌麿	七福神座敷遊び	享和2〜3年(1802〜03)頃	大判錦三枚続の中・左
89	喜多川歌麿	山姥と人形で遊ぶ金太郎	享和(1801〜04)〜文化(1804〜18)初期	大判錦絵
90	喜多川歌麿	七代目片岡仁左衛門の由利八郎	寛政7年(1795)	細判錦絵
91	喜多川歌麿	「役者六家選」	寛政年間(1789〜1801)	細判錦絵三枚続
92	喜多川歌麿	「福寫左衛門」	享和3〜文化元年(1803〜04)頃	大判錦絵
93	喜多川歌麿	加藤清正	享和3〜文化元年(1803〜04)頃	大判錦絵
94	喜多川歌麿	「真柴久吉」	享和3〜文化元年(1803〜04)頃	大判錦絵
95	東洲斎写楽	中山富三郎の宮城野	寛政6年(1794)5月	大判錦絵
96	東洲斎写楽	松本米三郎のけはい坂の少将、実はしのぶ	寛政6年(1794)5月	大判錦絵
<b>特別出品</b> 〔千葉市美術館所蔵〕	東洲斎写楽	三代目大谷鬼次の江戸兵衛	寛政6年(1794)5月	大判錦絵
97	東洲斎写楽	市川男女蔵の奴一平	寛政6年(1794)5月	大判錦絵
98	東洲斎写楽	四代目若井半四郎の乳人重の井	寛政6年(1794)5月	大判錦絵
99	東洲斎写楽	市川富右衛門の猪の熊門兵衛	寛政6年(1794)7月	細判錦絵
100	東洲斎写楽	二代目坂東三津五郎の百姓深草の治郎作	寛政6年(1794)7月	細判錦絵
101	東洲斎写楽	三代目沢村宗十郎の名護屋山三	寛政6年(1794)7月	細判錦絵
102	東洲斎写楽	三代目瀬川菊之丞の傾城かつらぎ	寛政6年(1794)7月	細判錦絵
103	東洲斎写楽	二代目中村桑太郎の由良兵庫之介妻みなと	寛政6年(1794)8月	細判錦絵
104	東洲斎写楽	中山富三郎の義興御台つくば御前	寛政6年(1794)8月	細判錦絵
105	東洲斎写楽	中島勘蔵の馬子寝言の長蔵	寛政6年(1794)8月	細判錦絵